



第25回「鉄道のある風景写真コンテスト」の開催のご案内

～日本の四季折々の鉄道のある風景を題材に写真コンテストを開催～

日本の四季折々の鉄道のある風景等を題材に、昨年は1,063点の応募をいただいた写真コンテストを今年も開催します。

グランプリ受賞作品は、例年、「鉄道の日」(10月14日)に関連して開催される行事の中で、審査委員長の猪井貴志氏(写真家)より作品の紹介と表彰をいただいています。

(※昨年度の表彰式は、「鉄道の日」祝賀会の場で行われましたが、今年度の開催については、決まりしだい鉄道・運輸機構ウェブサイトなどでお知らせします。)

■第25回「鉄道のある風景写真コンテスト」の概要

主 催 : 「鉄道の日」実行委員会
独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

テ ー マ : 日本の四季折々の「鉄道のある風景」を題材とした作品

受付期間 : 令和6年7月1日(月)～8月31日(土)(必着)

受賞作品 : グランプリ(国土交通大臣賞)

四季賞 春賞
夏賞
秋賞
冬賞

四季賞の中から、
鉄道の日実行委員会会長賞 2点、
国土交通省鉄道局長賞 1点、
鉄道・運輸機構理事長賞 1点

を選出

シティ・トレイン・ビュー賞

ジュニア賞(※18歳以下を対象)

入選

1点

4点

1点

1点

数点



第24回グランプリ作品『萩の咲くころ』

審査結果発表(予定) : 10月上旬鉄道・運輸機構ウェブサイト

添付資料 : 第25回鉄道のある風景写真コンテスト募集要領
第24回鉄道のある風景写真コンテスト作品集



ウェブサイト



X 公式アカウント

<本件に関するお問合せ先>

鉄道助成部 特定財源管理課 四元、山岡

TEL 045-222-9133

第25回「鉄道のある風景写真コンテスト」募集要領

令和6年4月26日

主催者

「鉄道の日」実行委員会
独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構（鉄道・運輸機構）

後援

国土交通省



テーマ

日本の四季折々の「鉄道のある風景」を題材とした作品を募集します。

応募受付期間

令和6年7月1日（月）～令和6年8月31日（土）必着

応募資格

・アマチュアの方で、撮影マナーをしっかりとっていただける方ならどなたでも応募できます。

応募規格

※応募規格外の写真は、審査の対象外となります。

- ・応募作品は、他のコンテスト等の受賞歴がないものに限る。（詳細は注意事項①をお読み下さい。）
- ・カラー六切り（ワイド六切り可）、またはA4サイズでプリントアウトしたもの。
- ・額装、合成写真、AI加工された写真及び組み写真は不可。
- ・概ね3年以内に撮影をしたものに限る。
- ・応募点数は、一人4点まで可能。
- ・無人航空機（ドローン等）により撮影した写真は不可。

応募方法

- ・応募作品には1点ごとに「作品情報票」を裏面にテープで貼付した上で、「応募票」（送付封筒1通毎に1枚作成）を同封して下記応募先まで送付して下さい。（直接の持ち込みは禁止します。）なお、「作品情報票」及び「応募票」は本要領の最終ページの利用、もしくは鉄道・運輸機構ウェブサイト（<https://www.jrtt.go.jp/>）よりダウンロードして作成して下さい。必要事項について記載があれば自作のものでも構いません。
- ・応募作品が、送付中に作品が折れたり、汚れないようビニール袋に入れる、厚紙に挟む等の包装を推奨します。

応募・問い合わせ先

〒231-8315 横浜市中区本町 6-50-1 横浜アイランドタワー20 階
鉄道・運輸機構 鉄道助成部内 写真コンテスト係
電話 045-222-9133

表彰

応募作品の中から

・グランプリ	国土交通大臣賞	1 点
・四季賞		4 点
春賞	四季賞の中から、鉄道の日実行委員会会長賞 2 点、 国土交通省鉄道局長賞 1 点 鉄道・運輸機構理事長賞 1 点 を選出	
夏賞		
秋賞		
冬賞		
・シティ・トレイン・ビュー賞		1 点
・ジュニア賞 (18 歳以下を対象)		1 点
・入選		数点

グランプリ受賞者には、賞状、トロフィー、副賞及び記念品を贈呈いたします。

四季賞、シティ・トレイン・ビュー賞受賞者には、賞状、副賞及び記念品を贈呈いたします。

ジュニア賞受賞者及び入選者には、賞状及び記念品を贈呈いたします。

審査委員

審査委員は、次の方々をお願いします。(敬称略)

審査委員長	猪井 貴志 (写真家)
審査委員	竹内 健蔵 (東京女子大学教授)
審査委員	中村 直美 (株式会社交通新聞社 常務取締役)
審査委員	国土交通省鉄道局長
審査委員	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構理事長

審査結果の発表

入賞・入選者へは、鉄道・運輸機構から直接ご連絡するとともに、令和 6 年 10 月上旬に、鉄道・運輸機構ウェブサイト (<https://www.jrnt.go.jp/>) にて発表します。

なお、グランプリ受賞者は、例年、10 月に東京で行われる「鉄道の日」関連行事の中で表彰式を行っています。今年度の開催については、決まりしだい鉄道・運輸機構ウェブサイトなどでお知らせします。

また、一部の作品は、鉄道・運輸機構の広報印刷物などにも利用する予定です。

個人情報の取り扱いについて

作品をご応募の際には、別添の「応募票」「作品情報票」に正確な応募者の個人情報を記入し、主催者に提供いただく必要がありますので、応募者は、自らの意思に基づき個人情報の提供についてご判断ください。なお、必要な個人情報を提供していただけない場合、主催者は当該応募を受け付けません。

(利用目的)

- ◇ 提供していただく個人情報は、以下の目的で必要な範囲で利用されます。
 - ・ 入賞、入選者への通知
 - ・ 本コンテストの応募作品に関する応募者への問合せ
 - ・ その他、本コンテストの運営上必要な場合
- ◇ 入賞、入選者の氏名、住所（都道府県のみ）は、本コンテスト関係のウェブサイトや印刷物その他で、入賞、入選作品を紹介する際にも掲載されます。

(個人情報の管理)

個人情報の取り扱いについては、関係法令に従い適正に管理します。

注意事項

- ① 応募いただく作品は、他のコンテスト等の受賞歴のない作品で応募者が一切の著作権を有しているものに限り、応募者による同一または類似作品は、規模の大小にかかわらず、他のコンテストなどに応募中または応募予定の場合は応募できません。但し、応募者本人の制作による市販目的のない写真集や本人のウェブサイトに掲載された作品、審査のない写真展に出品した作品は応募可能です。
- ② 応募作品で使用する被写体（人物等）及び著作物等については、被写体および著作権等の権利者から応募者が事前に使用許諾・承認を得た上で応募してください。応募作品に関し、第三者からの権利侵害や損害賠償などの苦情、異議申し立てがあった場合といえども、主催者は一切の責任を負わず、応募者が全て対処するものとします。
- ③ 応募作品に関する著作権は、応募者に帰属するものとします。
- ④ 入選者は主催者に対し、主催者が管理するウェブサイト、展示会、印刷物、宣伝広告物等において、入賞・入選作品を公表、表示、複製、展示、公衆送信（送信可能化を含む）、頒布等し、かつ、それらの全部または一部を第三者に再許諾できる無償の非独占的権利を許諾するものとします。
- ⑤ 主催者は、前項に関連して、入選作品の全部または一部を改変（色合いの変更を含む。）できるものとします。
- ⑥ 入選者は、主催者および主催者から許諾を受けた第三者に対し、著作者人格権を行使しないものとします。
- ⑦ 応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。
- ⑧ 入賞・入選内定者は、指定期限内に原版（ネガ・ポジ等）またはデジタルデータを提出していただきます。期限内に提出いただけない場合、入賞・入選の内定を取り消します。なお、原版（ネガ・ポジ等）で提出いただいた場合は、使用後に当該原版を返却いたします。
- ⑨ 応募作品の受領通知は行いませんので、ご了承下さい。
- ⑩ 応募作品（入賞・入選作品に関しては提出いただいた原版及びデジタルデータも含む）の取扱いには十分注意しますが、万一応募作品に関する損失、紛失等の事故（送付中の事故も含む。）が生じた場合であっても責任は負いかねます。
- ⑪ 審査選考に関するお問合せ及びご要望には応じかねます。
- ⑫ 撮影にあたっては、列車往来などに十分注意してください。鉄道用地・私有地への無断の立ち入りや違法駐車、ゴミの投棄などの近隣住民への迷惑行為及び危険行為は絶対に行わないで下さい。これらの行為のうえ撮影されたと思われる作品は審査対象外とします。また、撮影に起因する事故やトラブル等については、主催者は一切の責任を負いかねます。
- ⑬ 主催者は、応募者が応募した時点で本募集要領に記載されている諸条件に同意したものとみなします。本募集要領に明記されていない事項については、主催者が最終的な決定権をもつものとします。また、主催者の決定に同意できない場合、応募者は応募を撤回することができますが、応募の撤回にともなう費用は、全て応募者の負担となります。
- ⑭ ご応募が本募集要領に違反すると主催者が判断した場合は失格となります。また、入賞・入選決定後に違反が判明した場合も同様となり、入賞・入選の取消しや副賞等を返還していただく場合があります。この場合の費用は、全て応募者の負担となります。

応 募 票

(ふりがな) 氏名	(歳) ※1 男 ・ 女
住所	〒 -
連絡先	自宅電話番号： 携帯電話番号： E-mail ：
作品タイトル※2 () は季節を記載	1. () 3. () 2. () 4. ()
コンテスト応募の きっかけ ※ 該当項目を○で囲んで下さい。	a) 鉄道雑誌 (雑誌名：) b) カメラ雑誌 (雑誌名：) c) 新 聞 (新聞名：) d) 鉄道車内広告、広報誌等 (鉄道会社：) e) インターネット (ウェブサイト：) f) 家族・友人の薦め g) これまでに応募したことがある (回目) h) その他 (具体的に：)

※1 応募時点での年齢をご記入ください。

※2 応募者が今回のコンテストに応募した「全ての作品」のタイトルを1. ～4. にご記入ください (順不同)。

作 品 情 報 票

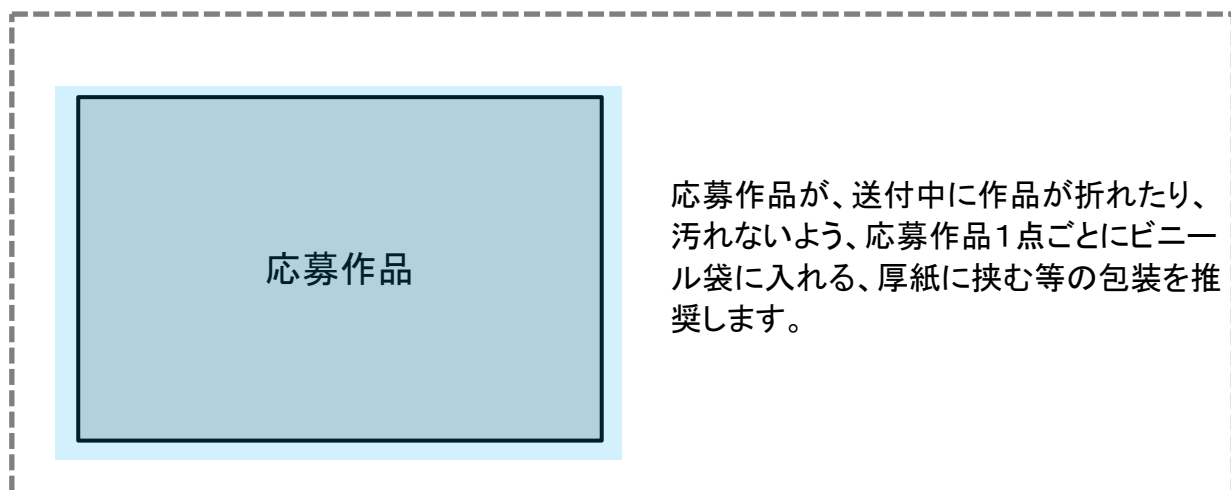
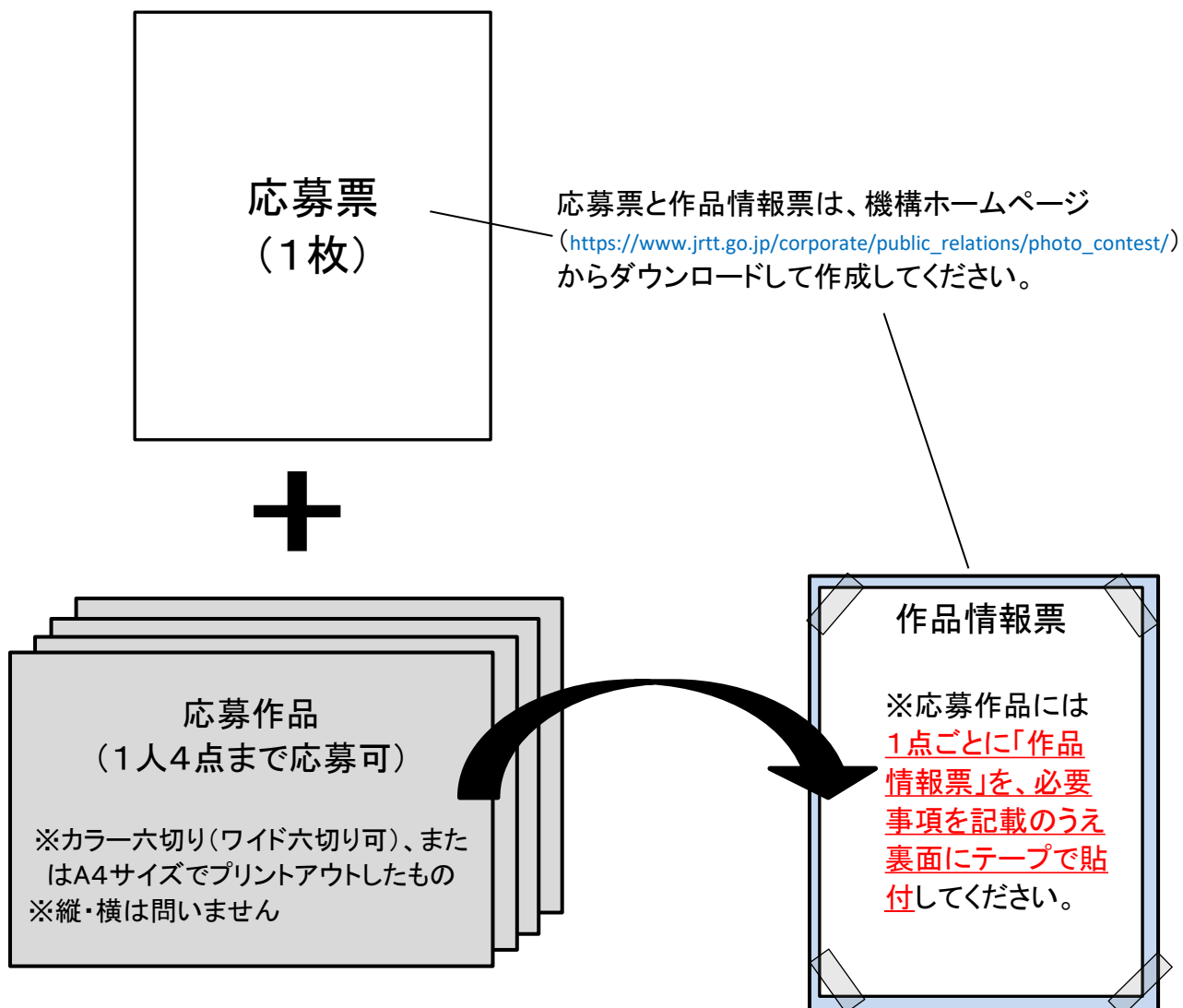
【それぞれの作品裏面に貼付】

(ふりがな) 氏 名	(歳) ※1 男 ・ 女	
(ふりがな) 作品タイトル		
撮影日時等	年 月 日 時頃 (春 ・ 夏 ・ 秋 ・ 冬) ※2	
撮影場所	鉄道会社名 ※3	線 間) (.
撮影コメント※3 (撮影時の状況や狙い、 感想、エピソード等)		
カメラ種別※4 カメラ機種 レンズ	種 別：フィルム・デジタル・その他 () 機 種： レンズ：	
撮影データ※3 (絞り・シャッター速度等)		
本コンテストへの 応募回数	回 目	
写真撮影歴※3	約 年	

- ※1 応募時点での年齢をご記入ください。
 ※2 応募作品について、応募者が該当すると感じている季節を○で囲んでください。
 ※3 可能な範囲でご記入ください。
 ※4 該当する種別を○で囲んでください。

第25回「鉄道のある風景写真コンテスト」の応募方法

◆ご送付いただくもの



第24回

鉄道のある風景写真コンテスト 作品集

鉄道は決められた時間の乗り物です。出発してから目的地まで、走行時間も駅の停車時間もきちっと時間と時刻が設定されています。

鉄道に魅せられて列車や自然を相手にして何十年も撮り続けてきました。当時は、陽光の中で鉄道の鮮やかな形と色だけを追っていたこともありましたが、しかし、心象風景を撮るには黎明時も、夕暮れ時もそして夜も撮影するようになり、昼間以外の時間帯が見せてくれる色調を探すようになったのです。一直線に歩いてきた頃は見えなかったものが、回り道をするようになってから視界にすっと入ってくるようになったのです。

人はだれしも惹きつけられる場所があるはずです。これからも、鉄道から醸し出されるシズル感を自身の五感に受け入れて、新しい「鉄道のある風景写真」を楽しみ、心地よい時空の旅人になりましょう。

写真家 猪井 貴志

グランプリ 国土交通大臣賞 山口 徹(東京都)



『萩の咲くころ』

(東日本旅客鉄道 八高線 東飯能駅～金子駅)

撮影者のコメント

地味であり目立つことのない印象の小さな萩の花ですが、この日は初秋の青空の下で色合いを主張しているようで思わずカメラに納めました。

総 評

第24回「鉄道のある風景写真コンテスト」に今年も多数の応募が寄せられました。その作品全てを審査員一同新鮮な目で応募作品の選考にあたりました。

今年特に感じられたのが、「鉄道のある風景写真」への発想や着眼点が広がり、定番ではない場所や、定番的な場所であっても、違った見方で撮影することで、オリジナリティのある作品を多く拝見することができました。

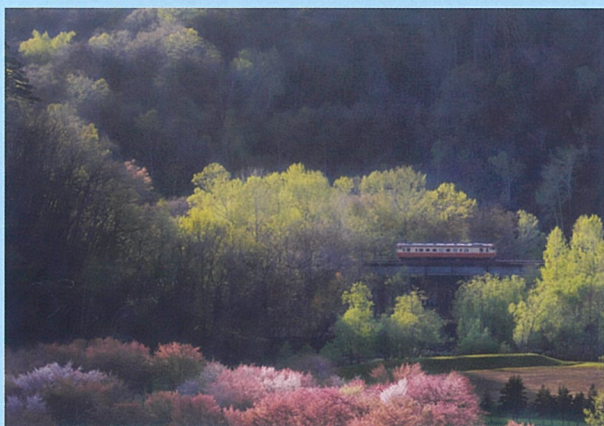
撮影先で、風景や様々な事柄と出会った時、どれだけワクワクしたか、撮った時のワクワク感がどれだけ伝えられるか。「いいな」と感じてシャッターを押すことで、何気ないけど魅力ある寸景に出会えることもあるのです。「やったー！」と手ごたえを感じるのは撮り手のあなたなのです。誰かが決めた絶景でない場所で、撮影した瞬間を自分だけの写真にするのはあなた次第なのです。これからもあなたの思う、記憶に残る風景写真を撮影しましょう。

第24回「鉄道のある風景写真コンテスト」のグランプリに輝いたのは、山口徹さんの「萩の咲くころ」。画面いっぱいに広がる青空に可愛い萩の花、この作品を見たとき、今年の猛暑をいっぺんに払拭し、爽やかな秋の風を感じさせてくれた作品になりました。

写真家 猪井 貴志

春賞（国土交通省鉄道局長賞）

奥谷 忠浩（北海道）



『最後の春、記憶のなかに』

（北海道旅客鉄道 根室本線 金山駅～東鹿越駅）

撮影者のコメント

この線区は廃線が決まっており、最後の春となります。そのため、桜が最も美しい日、時間を考え、数日通いました。やってきたキハ40は、彩りを添えてくれたかの如く、旧国鉄色でした。忘れることのできない一日となりました。

秋賞（鉄道・運輸機構理事長賞）

小林 航（神奈川県）



『大村の黄昏時』

（九州旅客鉄道 西九州新幹線 新大村駅～嬉野温泉駅）

撮影者のコメント

日没4分後、大村の街がトワイライトカラーに包まれた中を新幹線が駆け抜けて行った。

夏賞（「鉄道の日」実行委員会会長賞）

宮原 千逸（三重県）



『朝の散歩道』

（伊勢鉄道 徳田駅～中瀬古駅）

撮影者のコメント

私の朝の日課の散歩道を記憶に留めたくカメラで切り取りました。

冬賞（「鉄道の日」実行委員会会長賞）

塚本 浩行（東京都）



『白い世界』

（東日本旅客鉄道 奥羽本線 弘前駅）

撮影者のコメント

10年に一度と言われた大寒波到来の日、駅に着いてほっと一息、南北自由通路への階段を上りつつ、ふと壁面を見れば、真四角の窓ガラス越しの雪景色が、一幅の絵画のごとし。

シティ・トレイン・ビュー賞 渡辺 尚作(埼玉県)



『未来への試走』

(東日本旅客鉄道 東北新幹線 仙台駅～白石蔵王駅)

撮影者のコメント

たまたま新型新幹線の試運転が撮影できそうだったので、近未来っぽく撮影しました。

ジュニア賞 岡田 頼和(東京都)



『駅まで一步』

(松浦鉄道 東山代駅)

撮影者のコメント

佐賀県の東山代駅には、昔の駅舎がそのまま使われた家があります。そこに住む人が「駅まで一步で旅立つ事ができ、旅の余韻を残したまま一步で家に帰る事もできる」そんなストーリーを思い浮かべながら撮りました。

入選 工藤 寿(秋田県)



『春枝垂れ』

(秋田内陸縦貫鉄道 米内沢駅～桂瀬駅)

撮影者のコメント

道端に咲く枝垂れ桜を少し離れた場所から望遠レンズで列車と重ねて撮った一枚です。

入選 野口 茂樹(千葉県)



『花火』

(東日本旅客鉄道 磐越西線 日出谷駅～鹿瀬駅)

撮影者のコメント

山間に残照が残る中、花火を背に走る「SL ばんえつ物語号」を俯瞰。狙い通りの画が撮れました。

入選 三浦 星夢(神奈川県)



『歴史を刻む月宵』

(江ノ島電鉄 鵠沼駅～湘南海岸公園駅)

撮影者のコメント

初春のウルフムーンが登る頃、江ノ電の歴史的車両の300形とのコラボの一期一会を撮ることができました。天候と運行ダイヤに恵まれ、記憶に残るカットが撮影出来たと思います。

入選 山田 徹(愛知県)



『夕映え』

(天竜浜名湖鉄道 戸綿駅～遠州森駅)

撮影者のコメント

天竜浜名湖線の太田川橋梁で列車と夕日を狙いました。幸いにも空にいわし雲が現れ、河原で散り際のキバナコスモスを見付けました。それらを脇役にしたら豪華写真になりました。

入選 栢澤 敬子(新潟県)



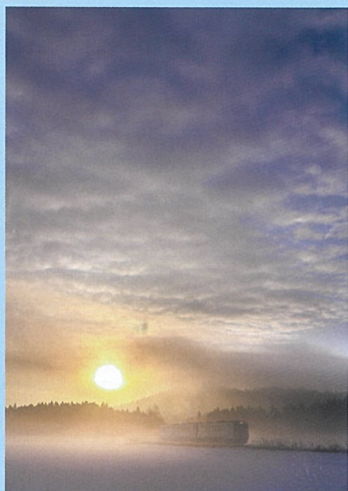
『花列車』

(東日本旅客鉄道 磐越西線 野沢駅～山都駅)

撮影者のコメント

私の大好きな大根花畑。休耕田に一面咲きほこっています。その中を力強く走るSL。私も元気をもらっています。

入選 辻本 一夫(東京都)



『寒暁』

(東日本旅客鉄道 釜石線 新花巻駅～似内駅)

撮影者のコメント

朝覚めた時、あたり一面は真っ白い朝靄に包まれていた。「もしかしたら…」の予感はある中し、朝陽が顔を出すと少しずつ周りの風景が見え始めた。そんな時、静寂の中から音もなく列車が…。心の中でガッツポーズ！

入選 草場 義昭(福岡県)



『ホームから夕景望む』

(九州旅客鉄道 大村線 千綿駅)

撮影者のコメント

千綿駅のホームへの階段を上がると大村湾を取り囲む雄大なパノラマが迎えてくれました。ホームの上で夕景に酔うように佇む女性があり、素晴らしいシーンに見えたのでシャッターをきりました。

(敬称は略させていただきました)

第24回 鉄道のある風景写真コンテストの概要

主催 「鉄道の日」実行委員会／鉄道・運輸機構
後援 国土交通省
募集期間 令和5年7月1日(土)～令和5年8月31日(木)
審査 令和5年9月7日(木)午後 鉄道・運輸機構にて開催
応募数 1,063点 (応募者数: 382名)

写真の審査は、次の方々をお願いいたしました。(敬称略)

審査委員長	写真家	猪井 貴志
審査委員	(株)交通新聞社常務取締役	中村 直美
	東京女子大学教授	竹内 健蔵
	国土交通省鉄道局長	村田 茂樹
	鉄道・運輸機構理事長	藤田 耕三

入賞・入選
作品の展示

令和5年10月8日(日)～9日(月)
令和5年10月18日(水)～30日(月)
令和5年11月3日(金)～5日(日)
令和5年11月14日(火)～27日(月)
令和5年12月5日(火)～18日(月)
令和5年12月27日(水)～令和6年1月9日(火)
令和6年1月18日(木)～31日(水)

- ①第30回鉄道フェスティバル会場(東京・お台場)
- ②鉄道博物館(さいたま市大宮)
- ③徳島駅クレメントプラザ4階クレメント広場
- ④京都市営地下鉄 烏丸御池駅(御池ギャラリー)
- ⑤神戸高速鉄道 新開地駅(メトロこうべ中央広場)
- ⑥つくばエクスプレス 浅草駅
- ⑦東京臨海高速鉄道 東京テレポート駅

第25回は、令和6年春に募集案内を告知する予定です。
応募要領は、鉄道・運輸機構ウェブサイトをご覧ください。



明日を担う交通ネットワークづくりに貢献します。

鉄道・運輸機構

Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency

〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町 6-50-1 (横浜アイランドタワー)

TEL 045 (222) 9100 (代表)

URL <https://www.jrtt.go.jp/>

JRTTが全国で展開する鉄道建設プロジェクト

新幹線建設の45%

1272 km

全国の新幹線約2831kmのうち
JRTTは約45%を建設しており、
新幹線建設に大きな役割を
果たしています。

首都圏の新規路線の72%

86.9 km

2004年以降に首都圏で開業した
都市鉄道121.5km（10路線）のうち
約72%（86.9km（6路線））を
JRTTが建設しました。
都市を訪れ、生活する人々の
暮らしを豊かにしています。



PROJECT 01

【整備新幹線事業】

北陸新幹線
(金沢・敦賀間)



整備新幹線としては最大規模となる敦賀駅

北陸新幹線（金沢・敦賀間）は、路線延長約125kmであり、2012年6月に工事実施計画の認可を受けました。2024年3月16日の完成・開業に向けて工事を進めています。

PROJECT 02

【整備新幹線事業】

北海道新幹線
(新函館北斗・札幌間)



貫通した二股トンネル

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）は、路線延長約212kmであり、2012年6月に工事実施計画の認可を受けました。2030年度末の完成を目指して工事を進めています。

PROJECT 03

【都市鉄道利便増進事業】

神奈川東部方面線
(相鉄・東急直通線)



新横浜トンネルより新横浜駅を望む

2023年3月に開業した神奈川東部方面線の相鉄・東急直通線は、相鉄線の羽沢横浜国大駅と東急東横線の日吉駅の間に連絡線を整備し、神奈川県央部および横浜市西部と東京都心部とのアクセス向上を図る事業です。

＼JRTT/
ウェブサイトは
こちら！



X
公式アカウント



YouTube
公式アカウント



instagram
公式アカウント

